

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	森林病虫害等防除事業				事業通番	5213			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--		
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名	森林環境対策室（係）	
	項	林業費		目	林業振興費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林病虫害等防除法						
事務事業の概要	森林病虫害等防除法に基づき、保全すべき森林において被害を沈静化させるため駆除・予防する。						
対象（誰、何を）	保全すべき森林						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林病虫害による被害木の伐倒くん蒸処理及び保全すべき森林の薬剤防除が実施されている。						
成果の考え方	森林病虫害による被害の拡大を防ぎ、被害範囲を最小限に抑える。						
【成果指標】							単位
A	被害木の駆除材積						m³
B	地上散布実施面積						ha

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	5,122	3,592	4,565		
国庫支出金					
県支出金		2,475	3,423		
地方債					
その他					
一般財源	5,122	1,117	1,142		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	60	0	0		
	78.23	0	0		
B	25	23.5	23.5		
	18.16	18.16	23.5		

（3）活動実績及び成果

活動実績	地上散布実施面積23.5ha						
成果	薬剤防除（地上散布）を実施することにより森林病虫害による被害拡大を抑制した。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 被害を未然に防ぎ良好な森林を維持する。
コストの方向性	現状維持	(理由) 被害を未然に防ぎ良好な森林環境を維持するには継続した事業の実施が必要である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 良好な森林環境を維持するため、関係機関と連携し効果的で継続した事業の実施が必要である。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	ペレットストーブ等購入設置事業				事業通番	5237			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--		
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名	森林環境対策室（係）	
	項	林業費		目	林業振興費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	ペレットストーブや薪ストーブの導入を促進し、木材の有効利用を図る。						
対象（誰、何を）	町内に住所を有し、住居及び事業所を有している者または有する予定の者。						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	木質バイオマスの利活用の意図を理解してもらい、予算の範囲内でペレットストーブ等を設置する。						
成果の考え方	2台以上の購入を目標とする。						
【成果指標】							単位
A 設置台数							台
B -							-

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	100	100	100		
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	100	100	100		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2	2	2		
	2	2	2		
B	-	-	-		
	-	-	-		

（3）活動実績及び成果

活動実績	2台10万円の補助を行った。
成果	ペレットストーブを導入することにより、木質バイオマス（樹木に由来する生物資源）の利活用が図られ森林資源の有効活用につながった。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 森林資源活用ビジョンにおいて木質バイオマスの活用推進を掲げており一般家庭へのペレットストーブ等の導入を促進していくため。
コストの方向性	拡大	（理由） 1台5万円を上限として補助しており設置台数が増加すればコストも増加する。
今後の方向性	有効性改善	（理由） 二酸化炭素の排出量削減に高い効果があるペレットストーブ等の導入を推進し脱炭素への取組を進める。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	森林環境交付金事業				事業通番	5240	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	森林環境対策室（係）
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	県森林環境税条例、県森林環境基金条例、県森林環境交付金交付要綱、県森林環境交付金事業実施要領						
事務事業の概要	【基本枠】 森林環境税を原資とし、森林観察教室、木工クラフト教室などの森林環境学習を行う。（補助率：県100%） 【重点枠】 木造・木質化や外構施設整備工事を行う場合に、県産材にかかる材料費について交付する。（補助率：県100%） 木製机椅子などの県産材を使用した物品導入を行う場合に、当該事業に要する経費について交付する。（補助率：県50%）						
対象（誰、何を）	町内小中学校児童生徒 町有施設、学校、未就学児童が通う保育施設、並びに地域住民が整備又は管理する集会所など公共性があり多様な利用が見込まれる施設。						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林環境の保全と森林を守り育てる意識の醸成。						
成果の考え方	森林環境学習がなくなったため、事業により使用した県産木材の材積量を新たな指標として設定した。 森林の大切さを学ぶことができた児童生徒数を把握するには多大な手間や労力を要するため、森森林環境学習参加人数を成果指標に設定した。						
【成果指標】							単位
A	森林環境学習実施回数						回
B	森林環境学習参加人数						人

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	4,454	8,647	10,401		
国庫支出金					
県支出金		6,827	7,390		
地方債					
その他					
一般財源	4,454	1,820	3,011		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	30	30	30		
	28	26	18		
B	1,095	1,095	1,000		
	737	1,044	646		

（3）活動実績及び成果

活動実績	【基本枠】 民家付近にある野生鳥獣の移動経路や潜み場となる藪や雑木林を整備する緩衝帯事業7.04ha、森林環境学習18回開催し646人参加、蓋沼森林公園の景観支障木伐採0.05haを行った。 【重点枠】 小中学校の学習机・椅子147セットの購入、白鳳山公園内の御茶屋場のテーブル・ベンチ2台の購入を行った。
成果	町内小中学校では、森林環境学習を通して森林に対する理解を深めることができた。 白鳳山公園では県産木材を活用することで利用者に対して木材をより感じられる場を提供できた。 山林では緩衝帯を作ったことで野生鳥獣を人里に寄せ付けない環境になり、近隣住民の安全性を図ることができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 森林整備や、木材をより感じられる場を提供することで、森林に対する意識の醸成を図っていく。
コストの方向性	現状維持	（理由） 森林に対する意識の醸成を図るため、交付金を活用し継続して事業を実施する。
今後の方向性	現状維持	（理由） 森林環境学習を実施することにより森林の多様性や環境問題への学びの場を提供し森林に対する理解を深めるとともに、県産木材の活用や森林整備を推進する。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	森林資源活用推進事業				事業通番	14693	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	
	項	林業費		目	林業総務費	重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	—						
事務事業の概要	森林資源の活用を進めるため、木質バイオマス資源の熱エネルギーとしての利用を目指す会津地域森林資源活用事業推進協議会と連携を図り、効率的な森林資源の収集運搬システム構築による持続的活用に向けた取組を進める。 加えて、町における森林資源の現状や利用状況を調査し林業の振興を目的とした官民連携による持続可能かつ経済性を確保した民間事業者主体による森林資源活用の取組を具現化することを目的とした業務委託を発注し、長期的な森林資源活用の将来像作成する。						
対象（誰、何を）	①会津地域森林資源活用推進協議会 ②町内の民間事業者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①負担金を支払うことで、当該組織が円滑に事業を実施できる状態にする。 ②民間事業者が持続可能かつ経済性を確保した森林資源活用の取組が行われる。						
成果の考え方	①当該団体が検討会等を重ねることでより効率的かつ効果的な枠組み構築が図れるよう努める。 ②町内での木材需要が拡大する。						
【成果指標】							単位
A	各団体の主催事業実施回数						回
B	木材生産量						m

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値		下段：実績値		
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					
事業費(千円)	245	250	8,925			A	10	3	5							
国庫支出金							2	16	4							
県支出金																
地方債						B	6,143	6,263	6,384							
その他			8,915				11,469	17,704	12,000							
一般財源	245	250	10													

(3) 活動実績及び成果

活動実績	①視察研修など会津地域森林資源活用推進協議会の事業を実施した。 ②会津美里町森林資源活用ビジョン（案）を策定した。						
成果	①先進地視察や研修会により、森林資源活用に係る知見を深めることができた。 ②会津美里町森林資源活用ビジョン（案）の策定により、民間事業者が持続可能かつ経済性を確保した森林資源活用の取組が行われる素地が出来た。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 森林資源の活用に関して、広域的な連携も踏まえながら、町としてより効果的かつ効率的な森林資源活用に係る事業展開を加速化させていく必要がある。
コストの方向性	拡大	(理由) 町における森林資源の現状や利用状況を踏まえながら、広域的な連携も含め効率的かつ効果的な民間事業者主体による持続可能な森林資源活用の取組を具現化していく必要がある。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 町における森林資源の現状や利用状況を調査し林業の振興を目的とした官民連携による持続可能かつ経済性を確保した民間事業者主体による森林資源活用の取組を具現化し、長期的な森林資源の活用を図っていく必要がある。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	ふくしま森林再生事業				事業通番	15009	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	令和7年度
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名
	項	林業費		目	林業振興費		重点プロジェクト

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	ふくしま森林再生事業補助金交付要綱 ふくしま森林再生事業実施要領						
事務事業の概要	福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備、表土流出防止対策等の放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減、拡散防止を図る。 【おもな取組】令和5年度は、西本地区片工沢及び宮川字胡桃地内外における森林整備を実施する。						
対象（誰、何を）	放射性物質拡散の影響で森林整備が停滞している森林						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林整備が行われ手入れの行き届いた森林となる						
成果の考え方	適切な手入れが行われている森林が増加することにより、主伐の際により良質な木材が搬出されることによる森林資源の更なる有効活用を図る。						
【成果指標】							単位
A 森林整備施業面積							ha
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	137,714	131,171	56,595		
国庫支出金					
県支出金	109,331	111,262	41,251		
地方債					
その他					
一般財源	28,383	19,909	15,344		

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	20	30	10		
	30.14	30.85	15.96		
B	-	-	-		
	-	-	-		

(3) 活動実績及び成果

活動実績	宮川字胡桃地内外において7.23haの森林整備を行った。 西本字片工沢地内外において8.73haの森林整備を行った。						
成果	適切な手入れが行われている森林が増加した。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき、森林整備等を行い森林の有する多面的機能の維持と森林の再生を進め、成果の向上を図る必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 令和7年度のふくしま森林再生事業終了に向け、全体計画に基づき適切な投資を行う必要がある。
今後の方向性	生産性改善	(理由) ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき、令和7年度の事業完了に向け継続して計画的に森林整備を行っていく必要がある。また、令和8年度以降については、森林経営管理制度などの制度を活用し引き続き森林整備を推進する。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	特用林産物振興支援事業				事業通番	15334		
					開始年度	平成30年度		
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--	
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名	森林環境対策室（係）
	項	林業費		目	林業振興費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町特用林産物振興支援事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	林業振興を図るため、特用林産物栽培に対する新規又は規模拡大にかかる機械設備や資材等の導入を支援する。 【おもな取組】令和5年度は、上記支援に加え、生産量拡大の障害となっている問題解決に向け、関係機関との調整を進める。						
対象（誰、何を）	町内の特用林産物生産者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	新規生産や規模拡大に取り組みやすくなる。						
成果の考え方	特用林産物生産量が増加する。						
【成果指標】						単位	
A	生しいたけの生産量						k g
B	-						-

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	200	0	0		
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	200	0	0		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	48,000	49,800	51,500		
	37,385	32,406	36,356		
B	-	-	-		
	-	-	-		

（3）活動実績及び成果

活動実績	農業関係者に対し特用林産物に関する支援内容の周知を行ったが、補助金の申請は無かった。						
成果	生産者は令和4年度と同じ17人であった。 菌床数を増やし、栽培面積が増えた生産者がいたことから、しいたけの生産量が前年度よりも増えた。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 補助金内容の周知を図り新規生産者又は規模拡大生産者に対し補助金を交付し生産量の増加を目指す。
コストの方向性	現状維持	（理由） 令和5年度は補助金の活用がなかったため、補助内容を見直したことにより補助金の活用が見込まれる。
今後の方向性	生産性改善	（理由） 活用しやすい補助内容に見直したことにより、新規生産者又は規模拡大生産者を支援し生産量の増加を目指す。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	森林環境整備促進事業				事業通番	15556			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--		
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名	森林環境対策室（係）	
	項	林業費		目	林業振興費		重点プロジェクト		該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林経営管理法						
事務事業の概要	森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林所有者の経営管理意向調査や経営管理権の取りまとめにより森林整備計画を策定し、林業事業体に経営管理を委託することにより間伐などの森林整備を促進する。 【おもな取組】令和5年度は、町内1地区を選定し意向調査を実施するとともに、前年度までに意向調査を実施した佐賀瀬川地区、旭無量地区の集積計画作成に向けた調査業務を進める。加えて、東尾岐勝負沢・結能地区における集積計画を完成させる。						
対象（誰、何を）	長期間森林整備が行われていない民有人工林						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な森林の経営管理計画が作成され、計画的な森林整備が実施される。						
成果の考え方	計画的な森林整備を町内民有人工林で展開することにより、森林の有する公益的・多面的機能の保全を図る。						
【成果指標】							単位
A 森林経営管理意向調査実施面積							ha
B 林業経営体への再委託が完了した面積							ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	13,639	17,099	8,859			A	50	50	50				
国庫支出金							361.46	292.56	0				
県支出金													
地方債						B	14	10	30				
その他	13,639	17,099	8,859				0	0	0				
一般財源	0	0	0										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	勝負沢・結能地区において集積計画案に対する同意取得業務が完了した。 佐賀瀬川地区において、意向調査実施箇所での集積計画案作成が完了した。 無量地区において、意向調査実施箇所での集積計画案作成が完了した。						
成果	林業経営体への再委託に向けた準備が進捗した。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林経営管理制度の趣旨に基づき、長期間整備が行われていない森林を対象に事業を推進していく必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づき計画的な森林整備の推進していく必要がある。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 引き続き、森林経営管理制度の活用により計画的な森林整備を行い、森林の有する公益的・多面的機能の保全を図っていくため、森林所有者調査や森林境界の確認方法等について改善していく必要がある。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	森林公園等管理事業				事業通番	16752			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--		
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興		担当課名	産業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費		担当係名	森林環境対策室（係）	
	項	林業費		目	林業振興施設費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	蓋沼森林公園、白鳳山公園、八木沢公園条例						
事務事業の概要	八木沢公園内にある遊具、健康増進用器具、東屋及び藤棚、芝草等の維持管理、仮設トイレの設置等の管理を行う。国の水源100選に選ばれており、自然に恵まれた蓋沼森林公園の維持管理及び宿泊施設の提供をしている。白鳳山公園内施設の維持管理（アスレチックなど）を行う。						
対象（誰、何を）	公園利用者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公園を利用してもらい健康増進の契機としてもらう。						
成果の考え方	利用人数の増加。						
【成果指標】						単位	
A	利用人数						人
B	-						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	12,843	14,932	14,702		
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		333	345		
一般財源	12,843	14,599	14,357		

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2,500	2,500	2,500		
	13,930	12,832	11,007		
B	-	-	-		
	-	-	-		

(3) 活動実績及び成果

活動実績	各公園の設備や遊具の点検や修繕を行った。 シルバー人材センターに蓋沼森林公園、白鳳山公園の管理業務委託を行い、八木沢公園については草刈り、芝刈り等を委託した。 蓋沼森林公園で3,112人、白鳳山公園で7,895人の来園者があった。
成果	公園内の施設を適正に管理することにより、事故等なく利用者の衛生面、安全性、利便性を維持することができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 施設の修繕、林道・遊歩道付近の枯れ木・倒木の伐採を行い事故等の発生を防止するとともに、トイレの清掃等を行い快適に利用できるよう適正に管理し利用者の増加を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 利用者の安全を第一に施設の修繕、林道・遊歩道等の整備、清掃等を継続的に実施する。
今後の方向性	現状維持	(理由) 近年の夏場の猛暑を考慮すると、熱中症対策として施設へのエアコンの設置が必要であると考えられるため施設の改修と合わせて検討する。



事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	林道整備維持管理事業				事業通番	17443	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策No.	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	森林環境対策室（係）
	項	林業費		目	林道整備費	重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	—						
事務事業の概要	林業が魅力ある産業として成長するためには、森林資源の有効活用が必要である。そのためには森林資源の搬出コスト低減が必要であることから、林道の整備・維持管理を適正に行うことにより作業条件を向上させ、林業従事者の所得向上につなげる。 【おもな取組】令和5年度は、「豊かな森林づくり事業」として、東尾岐地区及び旭寺入地区の林業専用道新規開設に取り組みとともに、大滝線支線の開設工事を進める。						
対象（誰、何を）	①既設林道 ②新設林道及び既設作業道						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①安全に通行できる状態が保たれている ②新規林道については開設され、既設作業道においては改良が行われる						
成果の考え方	①林道を安全に通行できる状態に保つ ②新規路線開設や既設路線改良により、大型機械を使用した効率的な林業施業が可能となる森林面積を拡大させる						
【成果指標】						単位	
A	通行可能林道延長						m
B	林道密度						m/ha

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	81,927	85,130	53,573		
国庫支出金					
県支出金	49,432	51,785	30,630		
地方債					
その他					
一般財源	32,495	33,345	22,943		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	107,871	107,871	108,214		
	79,774	79,951	80,971		
B	5.73	5.73	5.73		
	5.68	5.69	5.71		

（3）活動実績及び成果

活動実績	・林業専用道大滝線支線開設工事（2工区及び3工区）が完了した。 ・林業専用道水無沢線測量設計業務委託が完了した。 ・林道維持管理として修繕や草刈り等を実施した。
成果	・維持管理作業の実施及び愛護団体への草刈業務委託などにより林道の安全な通行を確保した。 ・林道開設工事の実施により効率的な森林整備施業に向けたインフラを整備し林業の振興を図った。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 新規開設林道においては各計画林道の全体計画に基づき事業を進める必要がある。また、既設林道については、利用状況や地区の要望、緊急性などを考慮し適正な維持管理に努める。
コストの方向性	現状維持	（理由） 新規開設林道においては、計画的に現場状況を確認しながら事業を進め、既設林道についてはすべての林道を適正に管理することは難しいため利用状況などにより修繕などを実施する。
今後の方向性	現状維持	（理由） 計画的に事業を進め、効率的な森林整備を推進するとともに既設林道の適正な維持管理に努める。